

西区自治協議会（第 7 期）を振り返って

西区自治協議会会長 下川 照雄

1 はじめに

人口減少や少子超高齢化が進む中、地域課題は複雑多様化しており、これまで以上に区民や行政と協働し、課題解決のために取り組んでいくことが重要となっています。

今期は、運営方針を定め、西区自治協議会として重点を置く地域課題を「支え合いの取り組みの輪を広げる」「管理不全な空き家にしないための取り組み」「地域の担い手育成（自治会・民生委員・児童委員）等」「区の魅力発信・賑わい創出」の 4 つとし、取り組みました。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地域におけるさまざまな活動が制限を余儀なくされましたが、区自治協議会の協働の要としての役割を停滞させることの無いように、委員一人ひとりが地域課題解決に向けたアイデア出しや事業の広報活動等できることを行い、かつ地域活動団体と協働して課題解決に着実に取り組みました。

第 8 期の西区自治協議会において、さらなる地域課題の解決に取り組んでいただけのように、第 7 期の成果や取組みをここに報告いたします。

2 取組内容・成果・課題

(1) 本会について

ア 支え合いの取り組み（降雪時等）の輪を広げるための検討

平成 30 年 1 月の大雪を踏まえ、前期では改めて互助について考え、互助の実例を共有し、課題を洗い出しました。今期では、課題解決に向けて区自治協議会として取り組めることを検討しました。

この検討から、西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」で、地域で取り組めることや降雪時に個人で取り組めそうなことを発信することや、「支え合いの大切さ」に気づいてもらうきっかけとして、令和 2 年度区自治協議会提案事業で支え合いの大切さを広める標語等募集事業を実施しました。

支え合いの取り組みの輪を広げたことで、令和 3 年 1 月の大雪の時には地域の人が協力して除雪し合う姿が確認できました。

イ 区自治協議会で議論する内容の所属団体等へのフィードバックの方法について情報共有

委員の所属団体等への情報共有の方法について話し合い、所属団体の会議の場や活動の場を活用して報告しているほか、友人や家族、趣味の会、学校で会う保護者など身近な人にも伝えているといった現状を共有しました。

「地域の代表であり、区自治協議会での議論を団体へ持ち帰り、活動へ生かす」という、委員の役割を再認識し、各委員で取り組めるものから取り入れてもらうこととしました。

ウ 西区自治協議会委員研修会の実施

西区自治協議会では、第7期に区独自の委員研修会を2回実施しました。

令和元年度は、市の浸水対策の取り組みについて理解を深めるために、西区内で行われている浸水対策工事の見学を行いました。

令和2年度は、西区の魅力である砂丘について、当協議会の澤口委員（新潟国際情報大学教授）が講師となり、座学での研修を行っていただきました。新潟砂丘の成り立ちや他の砂丘地との対比など、参加した委員が砂丘についての知識を深め、それぞれの所属団体等へ戻った際に西区の魅力を広めることのできる研修会となりました。

(2) 部会・提案事業について

ア 第1部会

第1部会は、防犯、防災、自然環境、住環境分野を所管する部会です。

第7期では、重点的に取り組む地域課題であり、防犯、住環境分野である“管理不全な空き家にしないための取り組み”をテーマに活動を行いました。具体的な取組みとしては、空き家に関するシンポジウムを開催しました。また、空き家について家族で話し合うことの大切さを伝えるポスターと映像を作成し、啓発活動に取り組みました。

イ 第2部会

第2部会は、保健・福祉、文化・スポーツ、教育分野を所管する部会です。

第7期では、重点的に取り組む地域課題である、地域の担い手育成（自治会、民生委員・児童委員）や保健・福祉分野である支え合いのしくみづくりの輪を広めることをテーマに事業募集を行いました。また、平成30年1月の大雪をきっかけに、本会で普段から支え合える地域となれるように区自治協議会として取り組めることを検討したアイデアをさらに深め、「支え合いの大切さ」を広める標語募集事業に取り組みました。

ウ 第3部会

第3部会は、産業、区の魅力発信、交通分野を所管する部会です。

第7期では、重点的に取り組む地域課題である区の魅力発信・賑わい創出をテーマに事業募集を行い、地域活動団体とともに課題解決に向けて取り組みました。

また、区の魅力をワークショップ形式で洗い出し、まずは委員自身が魅力を実感する機会として、西地区内野で新川開削の歴史を座学で学んだほか、黒埼地区木場のまちあるきを実施しました。また、次期に向けてInstagramを活用した魅力発信に試験的に取り組みました。

エ 広報紙特別部会

広報紙特別部会は、西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」の編集・発行を所管する部会です。

区自治協議会の活動を広く区民に周知し、認知度を上げる目的で、広報紙「西区を豊かに」を第7期に6回発行したほか、西区だよりで、区自治協議会特集を2回掲載いただきました。構成にあたっては、多くの方に読んでもらえるように、特集や連載企画を織り交ぜながら、手に取ってもらえる紙面づくりを心掛けました。

SNSに広報紙の記事を掲載することで、紙媒体では情報が行き届かない方への情報発信に繋げることができたほか、クロスワードパズルを掲載し、区自治協議会に対する多くの意見や感想を得ることができました。

今後も区自治協議会の認知度を高めるため、親しみやすい紙面づくりに一層努めていきます。

オ アートフェスティバル特別部会

アートフェスティバル特別部会は、西区アートフェスティバルの企画・実施を所管する部会です。

区内の文化風土を耕して区民の一体感を醸成するため、区内で音楽・芸能やアート表現に取り組む個人や団体の発表の場として、西区アートフェスティバルを年1回開催しました。これまで以上に新潟大学との連携を深めるため、事業を融合して「+音届（プラスおとどけ）」として親子参加型のイベントやコンサートを実施しました。

※提案事業の具体的な成果・課題等については、添付の事業評価書を参照ください。

3 おわりに

今期は、4つの重点的に取り組む地域課題を定め、それらの解決に向けた事業を

地域活動団体から募集して協働することにより、限られた時間の中でも、課題への審議を深め効率的に取り組むことができました。

来期も同様の手法をとることで、効率的かつ効果的に地域課題の解決に取り組んでいただきたいと考えています。

また、部会では活発な議論ができた一方で、本会では活発な意見が出づらい状況にありました。このことから、次期は進行や議題への理解が深まるような工夫や、本会で活発に意見交換が行えるような改善が行われることを期待します。

第8期は、このような点を踏まえ、区民と市の「協働の要」として、活動の活性化がさらに図られることを願います。